

# 種智院大學 同窓會報

第7号

平成2年3月10日

京都市東山区今熊野日吉町42-1  
種智院大学同窓会

## 新春のご挨拶

種智院大学同窓会長

池田 瑩 輝



平成二年の新春にあたり、会員の皆様へ、心よりお慶びのご挨拶を申し上げます。

多くの優れた諸先輩がおられるなか、会長という大

役をお引き受けして、はや一年が過ぎました。この間、新しい役員の方々をはじめ、会員の皆様と共に、同窓会の活性化にむけて、懸命の努力を続けて参りました。ここにきて全国に十二の支部ができ、また、昨年総会では母校の改善事業にたいし、同窓会として、全面協力をしていくことが確認されました。このことにより、全国各支部の皆様のご尽力によって、輝かしい成果が報告されております。

私は、会長就任以前から「同窓会は、口は出すが、金は出さない」と繰り返し主張してまいりました。この言葉と違って、改善事業への勧募活動が、現在の同窓会の一方を支えていることは、何よりも、母校の窮状を目のあたりにして、同窓生ではない、理事長、学長先生のご活躍があり、大学の先生方のご奮闘に、同窓会としてこれ以上、黙しておれないからであります。

私ごとではございますが、師匠である父、弟子である息子と、私は三代にわたって母校にお世話になってまいりました。弘法大師の理想を今日に生かし、今なお、社会の注目をあつめつつあるわが母校が、貧しい施設と設備しか持たず、若き学

徒の養成にもこと欠くことは、まことに悲しむべきことであります。かつてのように、高い理想を掲げるだけでは、若い人々の求めに答えていくことは困難になってきています。ましてや、宗門子弟の最高学府にふさわしい内容の充実を同窓生として考えないわけにはいかないのではないのでしょうか。

こうした思いは、同窓生の皆様の共通した思いであると確信します。私達が母校で学んだ時代に思いを馳せるとき、私達は永遠に母校から離れることはできないと、つよく確信します。その思いは、そのまま母校の発展を祈る気持ちとならざるをえないのであります。

このような、さまざまな願いが結集せられて、このたびの輝かしい成果となったのであります。当初目標額に一段と近づいたことは、ひとえに、全国の皆様の莫大なお力添えの賜物であり、及ばずながら、この勧募活動に加わってきたもの一人として、この成果を皆様と共に喜びたいと思います。しかし、その具体的な数字をみてみますと、同窓会会員で勧募に応ぜられた方は、266名(2月15日現在)と全体の三割を若干越えたにすぎないのであります。にもかかわらず、当初目標額に近づいているのは、献身的な会員の方々のご努力の賜物以外の何物でもありません。

ここに、この数年間の同窓会の活動に二つの方向がみられることになるでまいしょう。つまり同窓会の活性化は、支部の増加と組織の拡大を生

みだし、多くの成果をあげてきました。しかし、それは、一部の方々にご負担をお願いする側面がないとはいえ、同窓会組織のより深い充実には、まだまだ課題を残しているといえましょう。

こうした反省にたつならば、母校の窮状にたいし、より深い理解が必要でありましょう。そのためにも、わずか三割にも満たない勧募の現状を改善していかなければなりません。しかし、同窓会が勧募のためにだけ機能したとするならば、再び衰退の道を歩むことになるであります。現在このような事態となることに危惧されている方々も、決して少なくないと思われまます。同窓会の目的とするところは、あくまでも、会員相互の親睦にあるのではないのでしょうか。今、私達は、母校にたいし、勧募に応ずることで、発展を願う立場を表明しています。先に述べたとおり、ここに一定の成果をあげることができました。同窓会が本来の立場を堅固に守ってきた故に、こうした成果が生まれたものと思ひます。

こうした、ひとつひとつの積みかさねが、今日

の成果となったのであります。そして、この成果により、具体的に校舎建築が理事会の先生がたにより進みつつあると聞いています。改善事業が現実化してきた以上、さらに母校の発展を祈り、教育の充実と後輩たちの育成を願うことも、必要な課題となっております。

勧募だけで終わるのではなく、そのあとも、しっかりと母校の発展を見届けなくてはならないのではないのでしょうか。それは、常に新しい後輩たちを迎える同窓会の勤めであると考えます。そこに、さらなる親睦の輪をひろげ、母校の正しい在り方を、つねに問い続けなくてはならないのであります。

今後、母校の動向を注意深く見守り、私達の内にある母校、母校とともに歩み続ける同窓会を考えていきたいと願うものであります。

平成二年の新春にあたり、これまでご理解・ご協力を賜った皆様への感謝の意を表し、同窓会会員の皆様の、ますますのご健勝を祈念申し上げます。

## 歡喜天尊根本道場

大本山  
生駒山

# 寶山寺

貫主 松本實道

〒630-02 奈良県生駒市門前町1-1

電話(07437)3-2005~6

## 大覚寺門跡に

## 井上紀生副会長 就任



昨年12月1日、大本山大覚寺の第五十七世門跡に本会副会長・井上紀生殿下が就任された。

井上新門跡は、大正9年の生まれで、昭和16年本学の前身、京都専門学校卒業。さらに昭和20年関西大学法学部も卒業された。

宝塚市の平林寺塔中、成福院住職を経て、昭和26年より神戸市兵庫区の立江寺住職に就任。立江

保育園を創設。さらに、宗門においては教区長、宗会議員を八期、宗会議長を二期をつとめ、権大僧正、大覚寺派耆宿、大覚寺派保育連盟会長等に就任。

また、対外的には、家庭裁判所調停委員、保護司。兵庫県においては、県幼稚園協会副会長、県仏教会副会長、神戸市仏教連合会々長等々の要職を歴任。長年にわたる教育功勞により、昨年4月藍綬褒章受章の榮に輝いた。

こうした宗門内外にわたる活躍と、幅広い功績をふまえて、第五十七世門跡の就任となった。

新門跡は、旧臘12月19日に入山式を執行。1月5日の新年拜賀式をはじめ、多用な日々をすごされている。なお、晋山式は3月28日執行とのことである。

## 支部だより

〔大阪支部〕 1月26日、大阪市福島区の高野寺において、三役（支部長・副支部長・会計・事務局）を中心に、役員有志が会合を持ち、昨年末の役員会以降の勧募活動の中間報告、今後の活動の骨子について討議。さらに支部総会の日程について協議。下記のとおりとした。

出席者(敬称略) 田中実道、西端良諦、法本弘文、見城芳行、土屋博秀、玉山順彦

## 会員動静

〔大楽同窓会〕

昭和44年～49年の卒業生を中心に、大楽同窓会が結成されていたが、その後、会員諸氏の繁忙のため、中座のやむなきに至っていた。しかし、このたび、幹事長石原修一氏、事務局竹内清純氏のご尽力により、下記のとおり開催できるはこびとなった。会員の皆様のご積極的ご参加をお願いします。

## 大阪支部総会

4月18日(水) 開催予定

会場・時間は後日連絡致します。

種智院大学同窓会大阪支部  
〒553  
大阪市福島区海老江7丁目17-18  
高野寺内  
Tel (06) 451-3496

## 大楽同窓会の開催

～昭和44年～49年卒業生～

日時 6月7日(木)夕刻かう  
8日(友引)にかけて  
会場 岡山市内にて開催予定

幹事長 石原 修一  
事務局 竹内 清純

連絡先 〒707 岡山県英田郡西栗倉村  
岩倉寺・竹内清純  
Tel (08687) 9-2154

大学だより

校舎増改築

地鎮祭・起工式 挙行

母校の改善事業を現実のものとする校舎増改築地鎮祭並びに起工式が、2月24日(土)午前11時より、大学本校舎北側の建設予定地にて挙行された。学園関係者一同が、待ちかねた改善事業の具体的スタートが、ここに切られた。

式は、鷲尾隆輝理事長をはじめ、学園理事、同窓会、後援会、教職員ら関係者の参列のもとにはじめられ、麻生文雄学長を導師に、教職員が職衆となり、厳肅ななかに進められた。

勧募活動、近隣対策と、これまで数多くの試練を経てきただけに、着工の第一歩を踏み出したことに、関係者一同感慨深いものがあった。(なお詳細は『綜芸』第5号に掲載予定)

◎出席者(順不同・敬称略)

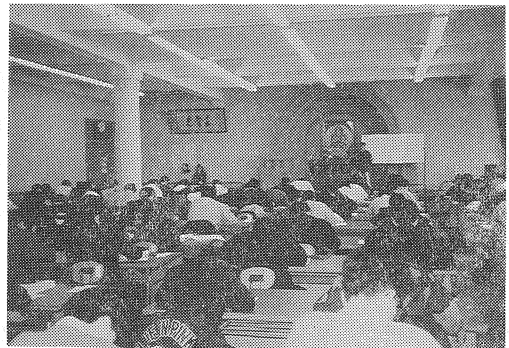
- 鷲尾隆輝 麻生文雄 井上紀生 田中真瑞
今井圓明 岩橋政寛 民岡哲雄 川崎龍性
城守昌二 深田修作 山田昌次 尾崎公昭
中塚 汎 細川益邦 遠山本良 横山繁久
高井隆秀 仲尾俊博 田中治憲 嶋 裕海
井上亮淳 苅谷定彦 佐藤久光 吉田 元
中村幸子 中川英尚 宮城洋一郎 児玉義隆
清水幸次郎 吉水 仁 石橋亜矢子 岩崎 豊
飛鳥建設 佐藤総合計画

種智院大学平成2年度入試結果

Table with 6 columns: 志願者, 受験者, 合格者, 実質競争率, 合格最低点. Rows for 推薦 and 1次.

平成2年度の種智院大学入学試験日推薦入試が昨年11月29日、1次入試が今年2月8日に実断され、いずれも開学以来最多の受験生数となりました。これにともなって合格者最低点も大幅に上昇しました。

なお、2次入試の願書受け期間は3月15日まで、入学試験は3月22日の予定です。



第一次入試(於・智山宗務庁)

種智院大学密教学会
学内研究発表会および常楽会法要

去る1月19日(金)午後2時より、学内研究発表会が開催された。その内容は下記のとおりであるが、麻生文雄学長の開会挨拶のあと、研究生の若々しい発表もあり盛会のうちに進行。神保全孝本学元講師、本会賛助会員をはじめ学外からも多数参加。最後に密教学会幹事・苅谷定彦教授より全体の講評、研究生諸氏への助言等が提起され、閉会。なお、司会は井上亮淳、頼富本宏両教授がつとめた。発表題目および発表者はつぎのとおり。

- 五逆罪について 研究生 岩崎 豊
頼瑜の思想とその背景 研究生 佐々木順子
善導大師について 研究生 古橋 直仁
弘法大師伝と万濃池・綜芸種智院 助教授 宮城洋一郎
16世紀日本醸造技術の発展 助教授 吉田 元
なお当日(1月19日)は、午前10時より常楽会法要が仮校舎実習室にてとり行われた。井上亮淳宗教部長の指導のもと、それぞれ、これまでの学習の成果を発揮した。また同時に密教美術(中村幸子助教授指導)、梵字(児玉義隆講師指導)の展示もあわせて行われ、盛会であった。

▶ 住所不明者一覧

下記の方々の住所が、現在不明となっております。お心当たりの方は、至急、同窓会事務局までご連絡下さい。

(連絡先) 〒605 京都市東山区今熊野日吉町42-1

TEL (075) 532-1199 FAX (075) 541-2474

卒業等の年次	氏名	昭和	昭和
大正2	山平利彦	20	45
5	高德田良忍	21	54
6	喜多川大義	22	55
12	武士伊田井本尾高	22	56
14	藤池金高	23	57
14	池高榎竹小矢	23	57
17	安横	24	59
19		24	60
20		25	61
		30	62
		40	63

計報

平成元年1月から本年2月までに、事務局にご逝去の連絡をいただいた方々の御名前を、ここに掲載し、謹んで哀悼の意を表します。(敬称略)

卒業等の年次	氏名
大正14年	黒田昇龍(岡山県)

昭和7年	明石徳應(兵庫県)
昭和14年	北原哲雄(岐阜県)
昭和23年	松久保了胤(奈良県)
昭和23年	岩上真弘(大阪府)
昭和24年	山本秀照(山口県)
昭和38年	谷薫(徳島県)

<p>種智院大学インド・チベット研究会編 チベット密教の研究 —西チベット・ラダックの — ラマ文化について— 定価18540円 510円</p>	<p>伝教大師最澄の研究 仲尾俊博著 定価6180円 310円</p>	<p>山家学生式序説 仲尾俊博著 定価9735円 360円</p>	<p>密教瞑想法 山崎泰廣著 定価2575円 310円</p>	<p>日本古代仏教運動史研究 宮城洋一郎著 定価5665円 310円</p>	<p>90年5月第2版刊行予定 日本社会福祉法制史年表 桑原洋子編著 定価7210円 360円</p>	<p>日英仏教語辞典 稲垣久雄著 定価7725円 310円</p>	<p>600 京都市下京区花屋町西洞院西入 図書出版 永田文昌堂 電(075) 371-6651 振替京都2-936</p>
---	---	---	---	--	---	---	--

「西院流能禪方伝授録」 全七巻

加藤宥雄編 定価 六五、〇〇〇円

「八結・金玉・異水伝授録」 全一卷

加藤宥雄編 定価 一三、〇〇〇円

「西院流伝授手控」

土直法龍筆  
加藤宥雄筆写 定価 二、〇〇〇円

「堂上儀西院流傳法灌頂教授手鑑」

加藤宥雄筆写 定価 三、〇〇〇円

「東寺定額僧院之血脈相承次第」

定価 八〇〇円

高井隆秀教授  
還暦記念論集「密教思想」

定価 八、〇〇〇円

種智院大学密教学会

京都市東山区今熊野日吉町四二―一

☎(075)525-1199 1605

振替京都〇―三〇三八

東寺真言宗 別格本山

# 法興寺

住職 東田教範

〒755 山口県宇部市新天町1-2-18  
電話 (0836) 21-2880

## 同窓会会員名簿

好評発売中

頒価 2,500円  
(送料込)

申し込み先  
京都市東山区今熊野日吉町42-1  
種智院大学同窓会  
Tel. (075) 525-1199

真言宗各本山御用達

 株式会社 野一色法衣店

〒600 京都市下京区木津屋橋通西洞院西入  
電話京都 (075) 361-6415(代表)  
371-0436  
FAX (075) 341-0622



総本山 東 寺 御用達  
真言宗各派総大本山

杉本権七法衣店

〒600 京都市下京区新町六条下ル  
電話 (075) 351-2890(代)  
FAX (075) 351-2890

野澤密厳

〒636 信貴山玉蔵院  
奈良県生駒郡平群町信貴山三六〇  
電話(〇七四五)七二一二八八一

西国第二十八番霊場  
日本三景天橋立  
別格本山

成相山成相寺

宮津市字成相寺三三九  
TEL(〇七七二)七二〇〇一八  
FAX(〇七七二)七一四〇九

- 成相寺長老 石坪哲真
- 代表役員 石坪昭真
- 高野山真言宗 宗会議員
- 社福法人 養護老人ホーム 施設長

種智院大学名誉教授

田中秋三

〒606 京都市左京区松ヶ崎小脇町一五  
電話(〇七五)七八一一五七五三

大覚寺派宿老大僧上定額位  
嵯峨御流花道総司所最高顧問  
勲五等瑞宝章

月輪寺

土井格明

〒673-04 趣味 俳句・俳画・いけ花  
兵庫県三木市本町二丁目十七一四〇  
電話(〇七九四八)二一〇七七九

長法寺住職

圓覚亮

〒714 岡山県笠岡市西大戸七三七  
電話(〇八六五六)六一〇五七七

四国第七十二番曼茶羅寺  
善通寺派庶務部長  
教誨師・民生児童委員

高吉清順

〒765 香川県善通寺市吉原町二六〇一  
電話(〇八七七)六三一〇〇七二

東寺真言宗宗議會議員  
東寺真言宗別格本山法興寺住職

東田教範

(自坊)  
〒755 山口県宇部市新天町二丁目番十八号  
電話(〇八三〇)二一一二八八〇

高野山真言宗 満福寺

本山布教師 篠畑俊成

〒632-03 京都府綾部市西坂町宮床六五  
電話(〇七七三)四九一一〇三〇

西国第二十四番霊場

明治天皇御平産勅願所

本尊

十一面觀世音菩薩

# 大本山 中山寺

長老 池田 瑩輝

〒595

宝塚市中山寺二丁目十一番一

電話 (0797)

〔八六一六五一七  
八四一五六二一〕

(阪急宝塚線中山駅下車すぐ)

## 僧職募集

◎資格 30才まで、伝法灌頂入壇修了者  
面談の上、優遇いたします  
電話連絡のうえ履歴書持参下さい  
(郵送にて可)